



準備

- ボンデン
 - プラスチック製のものを用意して下さい。
- 浮子
 - 耳付きタイプではなく貫通タイプの方が安定します。
 - 例えば気泡材研究所の13B-2やM10など。
 - <http://www.floats.jp/index.html>
 - ボンデンの径がφ35mmなので、穴径は40mm程度が目安となります。
 - 一つでは浮力が不足するので、複数個使います。



水温計の準備

- ロープに水温計を取り付けます。
- ビニルテープでロープに巻きます。
- 水温計本体以外にも数箇所ケーブルをロープにビニルテープで固定しておきます。



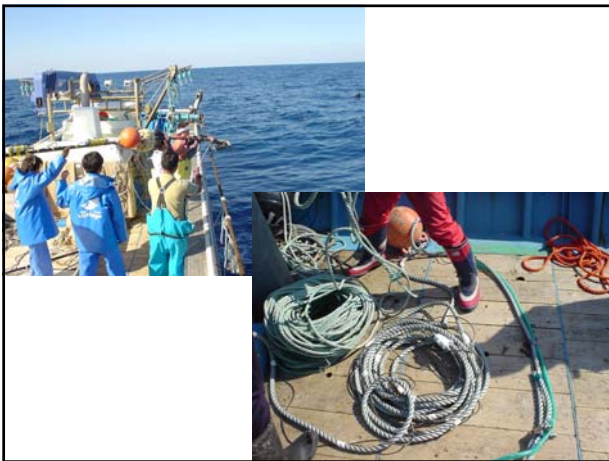
ブイの取り付け

- ボンデン上部にブイケースを、浮子の上にバッテリーケースを取り付けます。
- ブイケースは水面から1.5m以上の高さである必要があります。



錘

- ボンデン下部には錘を取り付けます。
- 浮子の位置はボンデンの中心よりも上になり、水中部分の方が長いようにします。



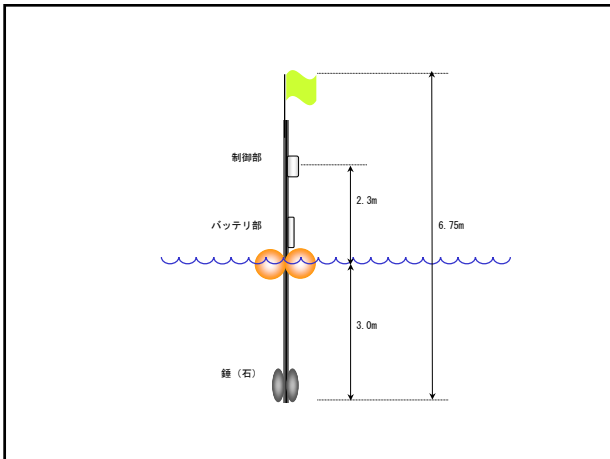
ブイの投入

- 船で設置場所にブイを運び、投入します。



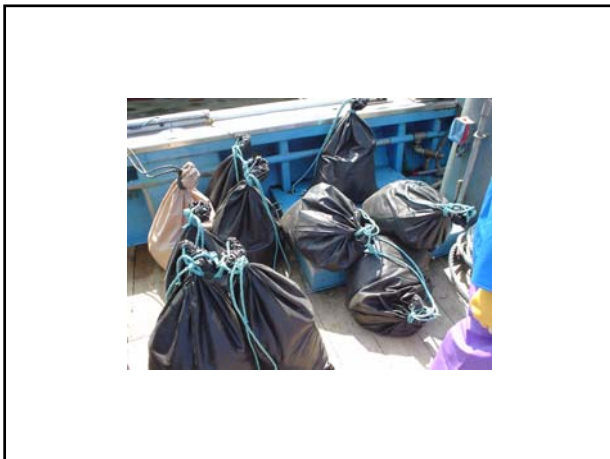
ホース

- ケーブルに損傷が生じやすいと思われる箇所はホースを使ってケーブルを保護します。



ボンデンを利用したブイ

- 制御部が海水面から1.5m以上の高さになるよう配置します。



土俵を用いた設置



ホタテ養殖施設を利用した設置



制御部の大きさ

- 500mlの缶ジュース程度の大きさです